



いわてSDGsカフェ いちのへサテライトと一戸町のご紹介

一戸町の紹介

■ 人口11,494人《2020年国勢調査》

□ 高齢化率 42.50%

■ 面積 300.03Km²

□ 町を南北に約20km(約30分)国道4号が縦断

□ 国道に並走して第3セクターIGRいわて銀河鉄道が縦断

□ 森林率73%《森林管理局HP》



一戸町の紹介

■特産品

□ 鳥越の竹細工など伝統工芸品

➤ 原材料のスズタケの開花→枯死により生産がごく少数に



一戸町の紹介

■特産品

□ レタスなど高原野菜や乳製品



一戸町の紹介

■特産品

□ 再生可能エネルギー（木質バイオマス・小水力・風力）



一戸町の紹介

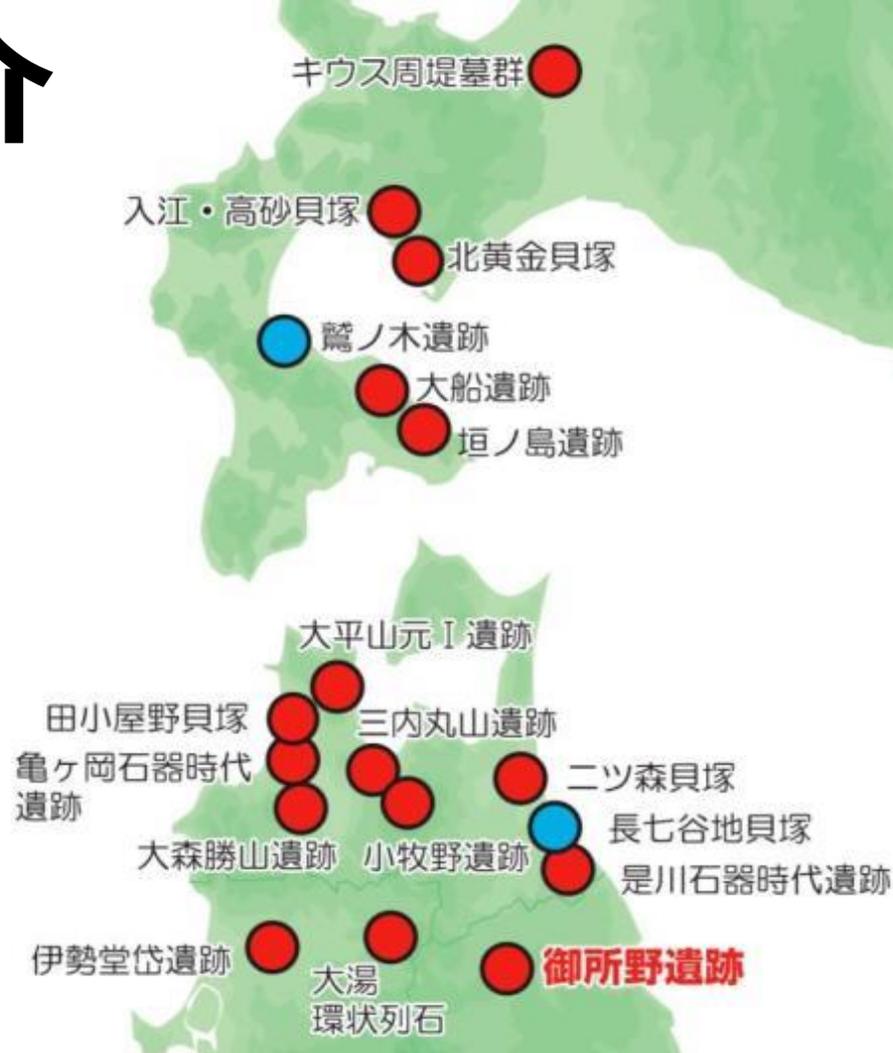
■観光

- 奥中山高原スキー場・温泉
- 岩手県立児童館「いわて子どもの森」
- 菜魚湖(ダム湖)の氷上ワカサギ釣り



御所野遺跡の紹介

- 御所野遺跡は「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産の一つとして、2021年7月に世界遺産に登録されました
- 縄文時代中期(約4,500～4,000年前)のむら(集落)のあと
- 遺跡そのものと周りの自然が現在まで残されている

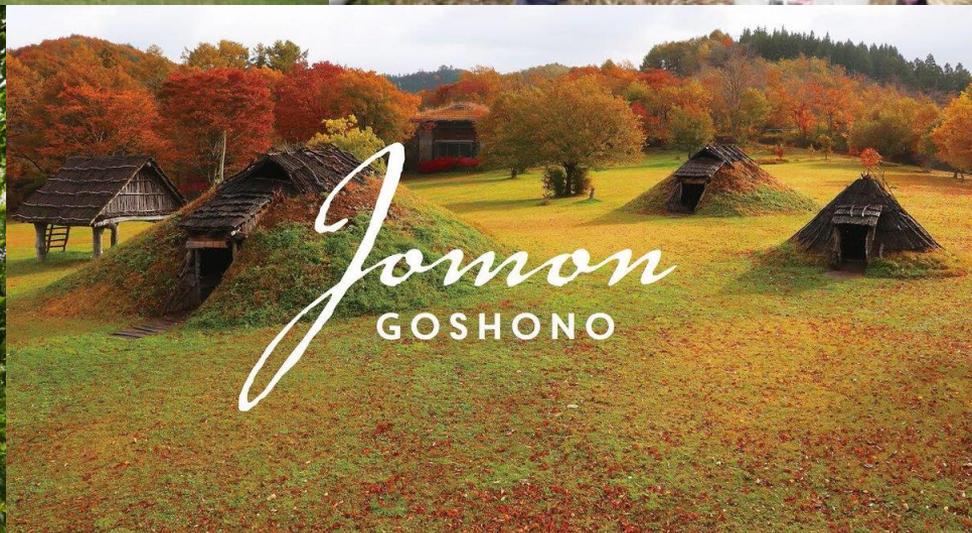


[縄文時代年表]



御所野遺跡の紹介

町民が一丸となって世界遺産を守っています！



高橋 北東北の縄文遺跡群の中心
御所野遺跡 / 御所野縄文博物館
〒020-0101 岩手県一宮町御所野1-1-1
TEL 0196-35-2017 FAX 0196-35-2100
www.goshono-museum.jp

会いに行ける縄文時代
岩手県一宮町の御所野遺跡、百部隈から一番近い北海道・北東北の縄文遺跡群。
三角屋根の寄り橋をわたると目の前に広がるのは縄文のミタの風景。
土居製の堅穴住居、クマヤトク、クマの縄文の森、おいでよ御所野遺跡、体感しよ縄文の原風景。

北海道・北東北の縄文遺跡群を世界遺産に
縄文
JOMON

地域の概要

- 2019年2月6日に「一戸町と横浜市における再生可能エネルギーの活用を通じた連携協定」を締結し、再エネの連携を縁に地域間交流、物品の交流等の取組を積極的に実施することになった。



地域の概要

■ 2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言

- 2019年12月2日、横浜市と再生可能エネルギーに関する連携協定を締結している当町を含む岩手県北9市町村（久慈市、二戸市、葛巻町、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町）が、再生可能エネルギーを軸とした広域連携により、地域循環共生圏の形成を目指すとし、2050年までに二酸化炭素排出量をゼロにすること（ゼロカーボンシティの表明）を合同で宣言しました。



地域の概要

■2020.01.27 再エネ100宣言 RE Action

- 企業、自治体、教育機関、医療機関等の団体が使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する新たな枠組みです。
- 一戸町は2050年二酸化炭素排出量実質ゼロの実現に向けて、この取り組みに賛同し、岩手県では3番目の団体として参加しています。

再エネ100宣言
RE Action



地域の概要

■北岩手循環共生圏

□ 令和2年度環境白書（71ページ）に事例掲載されました。

事例



北岩手循環共生圏による食・エネルギー・人の域内・広域の連携と循環の実現（岩手県北地域9市町村）

岩手県北地域の9市町村（久慈市、二戸市、葛巻町、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町）では、北岩手が有する森里川海の豊富な地域資源を活用するために9市町村が連携を図るとともに、2019年2月に「再生可能エネルギーの活用を通じた連携協定」を締結した横浜市へ、再生可能エネルギーや個性あふれる食材等の北岩手が持つ地域資源を供給することで、大都市の横浜市と地方の北岩手との間でヒト・モノ・コト・カネが循環する「北岩手循環共生圏」を構築すべく、取組を進めています。

特に、バイオマス、風力、太陽光、水力等の多様で大きな導入ポテンシャルを持つ圏域内の再生可能エネルギーについては、北岩手9自治体連携連絡会のもとに再生可能エネルギー専門部会を設置し、活用についての検討を進めています。

こうした中、2020年2月には「北岩手循環共生圏結成式」が執り行われ、「ZERO CARBON KITAIWATE」の宣言や北岩手内の地域電力会社と横浜市の企業等との「再エネ電力需給式」等を行い、都市と農山漁村の連携モデルを着実に構築しています。

北岩手循環共生圏のイメージ図



資料：特定非営利活動法人仕事人倶楽部

第2章

地域の概要

■北岩手循環共生圏

□ 環境省の紹介動画



空き家問題に取り組む高校生

岩手県立北桜高等学校 2年次『総合的な探究の時間』地域振興班
チャレンジプロジェクト

AKIYA de SUGOSO

空き家oe? SUGOSO

参加無料 & どなたでも 歓迎

2025年1月25日 土
高見邸 10:00 ~ 16:00
(一戸郵便局向かい)

問い合わせ: 北桜高校 (総合校舎)
TEL: (0195) 33-3042
担当: 細川

空き家問題に取り組む高校生

朝日新聞デジタルから

<https://www.asahi.com/articles/photo/AS20250114003585.html>

一戸町のSDGsのとりくみ

いちのへ SDGs mirai カフェ Vol.5

～やりたいことを広めよう!大プレゼン大会～



一戸町のSDGsのとりくみ

小野寺美登 町長



一戸町のことをなんとかしようと、考えていただいていることに感謝します。

まず、「中学生が作るお仕事図鑑！」ですが、ぜひ色々なところに配布したい。子どもさんにも勧められるような、そんな本になったら良いと思います。素晴らしいことだと思います。

「BOSAI GAKUSAI ミーティング」については、小学生の時から防災に関わっていただけるのは非常に良いと思います。地域防災については、高齢化など、なかなかうまくいかない、進んでない状況もあります。勉強していただいて、リーダーとなってやっていただければ非常にいいと思います。去年はいつもよりも大きな災害が起きました。防災については重苦しいイメージもあります。それをスポーツという形で楽しみながら

やっていくのは非常に素晴らしい考えだと思いました。

「いまから未来へ～みんなで作るまちなか交流館」については、お金をかけて改修してきた場所です。ぜひ使っていただきたいと思います。高校生が小学生の宿題のお手伝いをするなど。交流が生まれたらいいな、と思います。

一戸町のSDGsのとりくみ

山本和広 副町長



「中学生が作るお仕事図鑑！」に関連するのですが、先日、二戸地区の5つの高校の先生にヒアリングをさせていただく機会がありました。高校生でも地域にどんな仕事があるのか知らない、高校にきていきなりキャリア教育では遅い、という意見がありました。今回の取り組みと非常に重なる部分がありました。

「BOSAI GAKUSAI ミーティング」ですが、なかなか取り組みづらいものをエンターテインメント化するというような考え方は何事につけても大事だと思います。防災についてもとつきやすくなると思います。

「いまから未来へ～みんなで作るまちなか交流館」ですが、岩手町の事例を私も見てきました。若い人たちが市町村の枠を超えて集まって、どんなセンターにしよう

かを話し合いながら進めているところも非常に重要性が高いと思います。また施設の運営に若い人たちが関わることで自体がまさに「若者の活躍」であり、これからの人生においても良い経験になるだろうと思います。地元で長く活躍してもらおうということを考えても非常によろしく思います。皆さんから頂いた様々なご提案を参考にしながら取り組んでいければと思いますのでよろしくをお願いします。

一戸町のSDGsのとりくみ

中嶋敦 教育長



幅広い世代の方々が話し合う場になっていて、心が満ちてくる感じで、とても嬉しく思います。こういう場はとても大事だと思います。

AIが発展してきていますが、最後はやはり「人間力」だと私は思います。まさにこのカフェは、人間力が発揮されている場だと思います。

一生懸命頑張る人たちを応援するのが私たちの役割です。これをやりたい、こういう風にやりたいということを精いっぱい後押しをしていきたいと思っています。何か必要なことがあれば遠慮なく言ってください。応援しています。